新たな産官学金連携組織

始動

Zero-Act ふくしま

ふくしま ゼロカーボン × 資源循環 経済プラットフォーム

Fukushima Action Platform for Net-Zero and ZERO-waste Economy

背景 Background

資源循環関連市場

マーケットの拡大

- 資源循環(サーキュラーエコノミー)関連市場は、2030年までに**80兆円以上**、2050年度には**120兆円**規模へ拡大が見込まれている。(第五次循環型社会形成推進計画(R6.8))



背景 Background

政府方針

戦略的投資

- 循環経済への移行加速化パッケージ(R6.12)
- 循環経済行動計画(R8.4)
  (2030年までに**官民1兆円**投資・再生資源供給網の強靭化)
- 10年間で**150兆円**超の官民協調によるＧＸ投資(成長志向型カーボンプライシング構想)



背景 Background

これまでの市の取り組み

各種支援事業

- 省エネルギー設備導入支援
- 中小企業ゼロカーボン資金融資制度
- 新製品・新技術開発支援事業、創業支援事業　　等

⇒個別企業への「点」の支援だけでは、異業種連携や新しい取組が進まない。



背景 Background

✓マーケットの拡大 ✓政府方針 ✓市の取り組み





!

①産官学に加えて"金融"の合流

②"動脈"と"静脈"の結節

③具体的な"社会実装"への挑戦



本プラットフォームが目指す未来

プラットフォームのビジョンとゴール Our Vision & Goal

目指す姿（目的）

- 2050年度脱炭素・資源循環型社会を見据えた地域産業競争力を強化する。
- 地産地消型事業モデルの社会実装を推進し、本市発の新たな産業を創出する。

目標

（短期）

- **個別テーマ**による分科会を設定し技術シーズを検討

（中長期）

- 先導的な**実証プロジェクト**の立ち上げ（2030年度以降社会実装目標）

手段

続 け る

「一人ではない」という実感を力に、継続的な連携の場にする

【熱量向上】

高め合う

他社の技術・事例に触れ、自社の経営・技術力を引き上げる

【企業力向上】

つ な ぐ

業種を越えて・データ・技術・廃材をやり取りできる関係をつくる

【共通言語化】



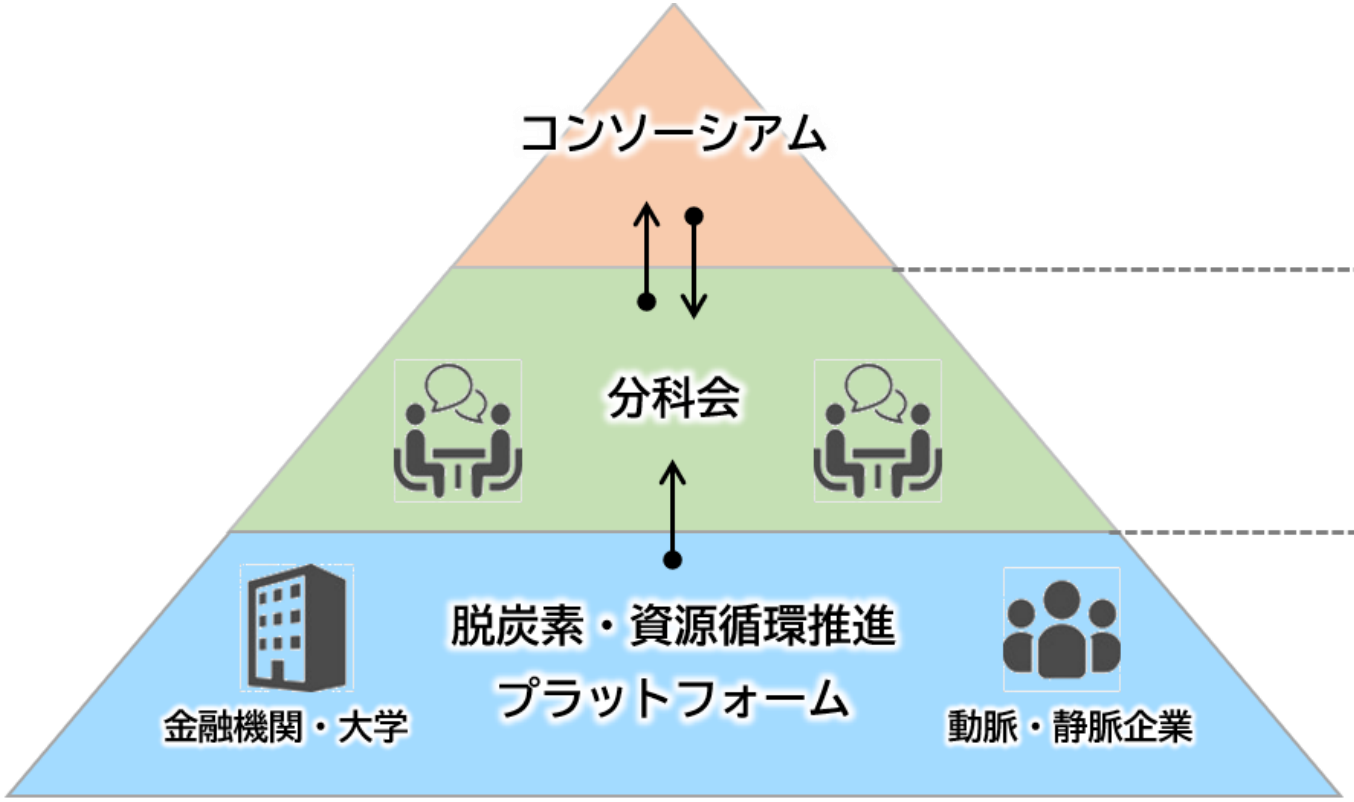
プラットフォームの枠組みとロードマップ

プラットフォームの枠組み　Platform framework

創設時企業･団体　（３５企業･団体）

※本日時点

建設業・製造業	電気・ガス・熱供給等	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売・小売業	金融業・保険業	廃棄物処理業・資源リサイクル業	研究機関・支援団体
８社	２社	２社	６社	２社	３社	５社	７団体



事務局：福島市

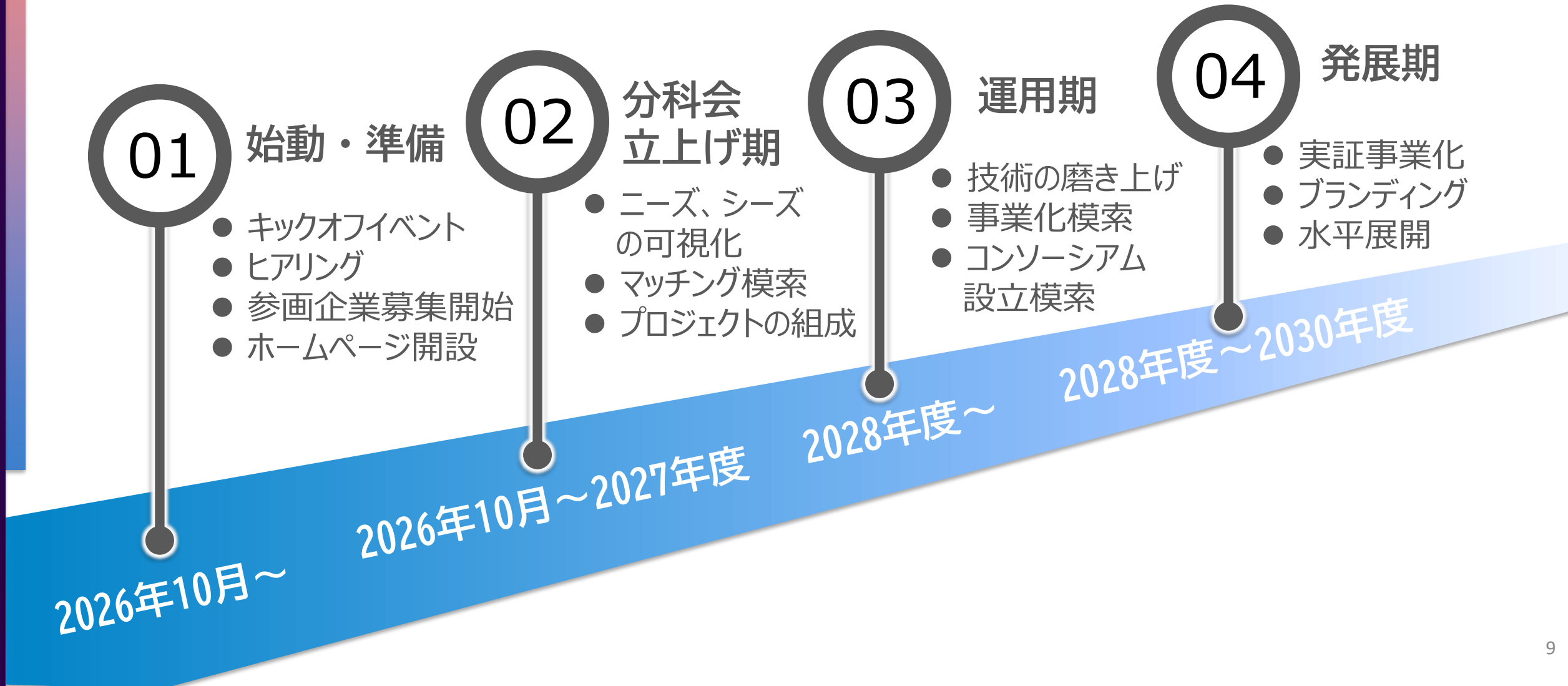
【３階部分】社会実装に向けたコンソーシアム
役割：事業計画の立案・実行
対象：コア企業、協力企業、協力金融機関

【２階部分】戦略的ワーキンググループ
役割：抽出された個別テーマの課題検討
対象：意欲の高い企業、賛同企業等

【１階部分】ローカルプラットフォーム（全体会）
役割：目的・情報共有、課題の掘り起こし
セミナー開催、マッチング
対象：市内企業、大学、金融機関、行政

ロードマップ Road map

【イメージ】





参画のメリットと役割

参画のメリット Benefits of participation



新規パートナー開拓

- 異業種企業等とのマッチングにより、新しいサプライチェーンや新事業の創出。



事業化への伴走サポート

- 事務局による最新の補助金情報の共有や、連携金融機関・専門機関による事業化への伴走サポート。



企業価値・ブランド力向上

- 先進的な環境対応企業としてのPR効果や、優秀な人材への訴求力向上。

参画のメリット Benefits of participation

本プラットフォームは「協業と刺激の場」です

- 講演やセミナーはゴールではなく対話と気づきのきっかけ
- 自社の課題（ニーズ）と技術（シーズ）を可能な範囲でオープンに発信
- 異業種と積極的に対話し、具体的な事業化の道を探る

聴き手

他業種の話を、自社の廃材・データ・エネルギーの使い道のヒントとして聴く。

話し手

自社の取り組みを、成果だけでなく課題も含めて共有する。

つなぎ手

「あの業種、あの企業と組むと面白そう」を見つけてコミュニケーション。

個別テーマの例

業種	「脱炭素」への関わり方（例）	「資源循環」への関わり方（例）
製造	省エネ設備・再エネ転換、サプライチェーン排出削減	廃材・端材の削減、素材の再利用
電気	再エネ供給、電力の地産地消	発電由来の副産物・熱の有効活用
運輸	ＥＶ・低燃費車両の導入、配送ルートの効率化	梱包資材の削減・リユース
小売	店舗の省エネ、ＣＯ２見える化	容器包装削減、食品ロス削減
廃棄物処理	収集運搬の効率化、焼却熱の利用	リサイクル技術、資源化率の向上
情報通信	データセンター・サーバーの省エネ化、ＤＸによる移動・紙の削減	使用済みＩＴ機器のリユース・適正処理
金融・保険	脱炭素融資・サステナブルファイナンス、ＣＯ２見える化支援	環境配慮型商品・環境格付融資の提供
支援団体	情報発信、企業への伴走支援	ネットワーク形成、企業間マッチング



本日のアジェンダ
今後の予定

本日の流れ Today's Agenda

0 【プロローグ】
市の課題認識と解決に向けた方向性について（本セッション）

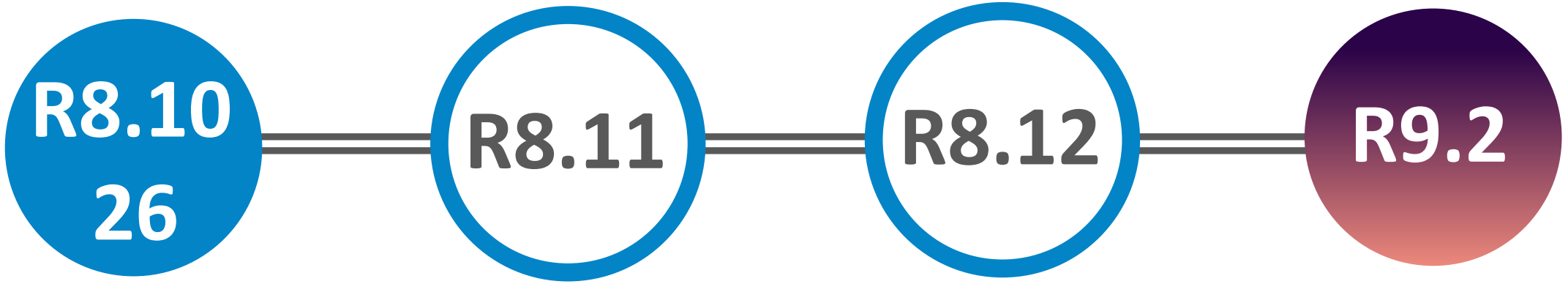
1 【基調講演】
我が国における循環経済施策の動向について
環境省　資源循環課　福田 朋也　様

2 【実践事例の共有】
・福島から始める資源循環ビジネスのつくり方について
株式会社ＯＤＯＲＩＪＩ　古原 徹　様
・脱炭素を企業成長につなげていくための取組みについて
信金中央金庫　鈴木 友也　様

3 【ライトニング・トーク】
脱炭素や資源循環に関する自社の技術と課題について

4 【交流会】
交流、テーマ別ミートアップ

今後の予定 Next Steps



キックオフ

・参画企業募集開始
・ホームページ立ち上げ

取組集約

・各企業からの取組状況や課題等を集約

テーマ募集

・集約した情報を基に、課題・技術シーズ等に応じた検討テーマの募集

第2回会議

・各企業テーマ講演
・情報交換会
・分科会（予定）

新たな産官学金連携組織

始動

Zero-Act ふくしま

ふくしま ゼロカーボン × 資源循環 経済プラットフォーム

Fukushima Action Platform for Net-Zero and ZERO-waste Economy